

# 庭木の常備薬

バラや草花にも

粒状殺虫剤

## ダイリーグ<sup>®</sup> 粒剤



アブラムシ



ガンバイムシ

アブラムシによる吸汁被害  
(新葉の奇形 と すず病の併発)



ツツジガンバイによる  
吸汁被害(白斑)



### 適用害虫の範囲および使用方法

規格:1.5kg入

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農業の総使用回数
つつじ類	ガンバイムシ類	6~12kg/10a	発生初期	5回以内	株元散布	5回以内 (樹幹注入は1回以内)
	アブラムシ類	12~30kg/10a				
さかき <span style="color:red">新</span>	サカキブチヒメヨコバイ	30g/m <sup>2</sup>				
しきみ	ガンバイムシ類	12kg/10a				
	アブラムシ類	12~30kg/10a				
クロトン	カイガラムシ類	30kg/10a				
	アブラムシ類	12~30kg/10a				
かえで <span style="color:red">新</span>	ゴマダラカミキリ	30g/m <sup>2</sup>				
樹木類 (つつじ類、しきみ、クロトン、かえで、さかきを除く)	アブラムシ類	12~30kg/10a				
花き類・観葉植物			1g/株			

### 【特長】

1. 処理が簡単。雨降り前に株元に散布するだけで長期間殺虫効果が持続する。
2. 粒は青色の顆粒で、臭いはほとんどありません。
3. ミツバチ、天敵に殆ど影響はありません。

【アブラムシ

散布適期】

新芽展開前

【ガンバイムシ

散布適期】

①5月~6月上旬(花後の剪定時期)

②7月上旬 ③10月

【ゴマダラカミキリ

散布適期】

5月下旬~7月

【カイガラムシ類

散布適期】

5月下旬~7月(幼虫発生初期)

ダイリーグ粒剤の  
使い方はコチラから



### 【使用についての説明、注意点】

1. 株元(根が張っている部分)へ散布してください。
2. 水によって粒から殺虫成分が溶けだします。降雨前に散布してください。
3. 雑草が繁茂している場合、効果が劣るため除草後に散布してください。
4. 2mを超える樹木には効果が劣ります。
5. 花き類・観葉植物に使用する場合、幼苗期の使用では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
6. 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

YouTubeで  
簡単説明



# 多種類の広葉樹を加害する ゴマダラカミキリ



成虫発生時期5月下旬～9月  
羽化最盛時期5月下旬～6月

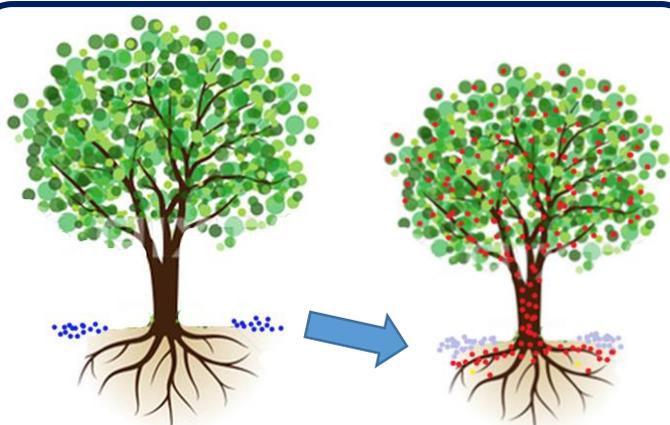
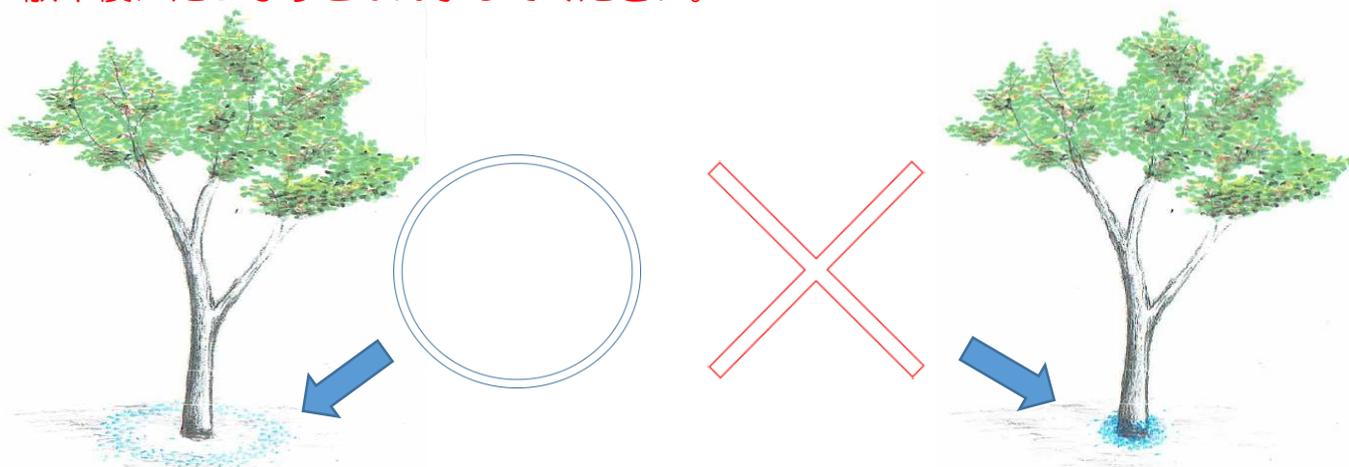
ゴマダラカミキリはカエデだけでなく、柑橘類、バラ科樹木、ヤナギ、プラタナスなど多種類の広葉樹を加害します。近年、薬剤防除の困難な庭や公園などで増加傾向です。羽化した成虫は、若枝のみずみずしい樹皮や葉を食害(後食)した後、交尾、産卵します。産卵は生木の幹や枝等の樹皮におこなわれ、孵化した幼虫は、材部を食害(穿孔)しながら成長し、木屑を大量に排出します。幹、枝内部が空洞になるほど食べ尽くし、枯れる株もあります。

## ダイレーグ粒剤を使った防除

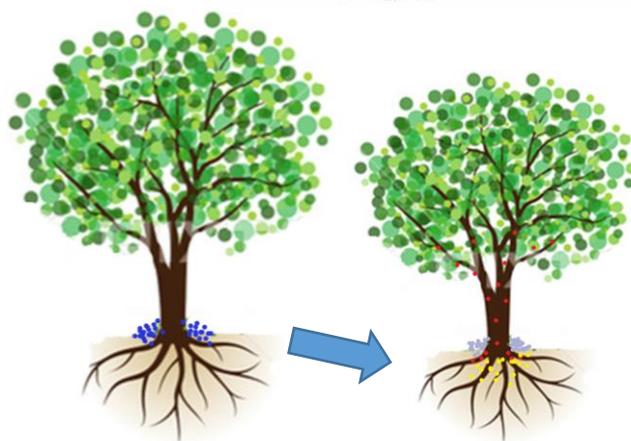
5月下旬から羽化した成虫が発生し、産卵するまでの約10日間は若枝の樹皮や葉を食害します。この食害する時期の防除が重要です。羽化盛期は6月上中旬なのでダイレーグ粒剤30g/m<sup>2</sup>(軽く一握り)を5月下旬～6月上旬に散布します。羽化時期には幅があるので、6月下旬にも追加散布します。

## ダイレーグ粒剤 散布イメージ

\*殺虫成分が溶け出すには水分が必要なので、降雨が予想される直前もしくは散布後にたっぷりとかん水してください。



株元周辺にドーナツ状にばら撒くことにより成分が根から吸収され効力を発揮します



株元に集中して撒くと根から吸収しづらくなり十分な効果が得られません